

春日部市立学校における ICT 活用及びフォローアップ

1 授業での ICT 活用について（目標）

授業での学びの充実を図るために、1人1台端末や大型モニター等の ICT 機器を、発達段階に応じて次のとおり活用することを目標とする。

(1) ステップ1「端末の取り扱い方の習得」

<例>

- ①基本的操作を学ぶ
- ②きまりを守って取り扱う 等

(2) ステップ2「端末の基本的な機能の活用」

<例>

- ①写真や動画を撮影する
- ②インターネットを使って調べる 等

(3) ステップ3「各教科等の学習における活用」

<例>

- ①（国語）録画機能を活用して、スピーチをよりよいものにする
- ②（社会）情報の収集・整理・読み取りを行い、発表する
- ③（算数・数学）変化の様子を可視化して、イメージや特徴をつかむ
- ④（理科）動画撮影した観察や実験を繰り返し視聴して、考察する
- ⑤（外国語）翻訳機能を活用して、正確な発音を確認する 等

(4) ステップ4「学習過程における効果的な活用」

<例>

- ①課題の設定 : 実社会の問題状況に関わる課題、
↓ 進路や教科等横断的な課題等を設定
- ②情報の収集 : 文献検索、ネット検索、インタビュー、
↓ アンケート、実験、フィールドワーク等
- ③整理・分析 : 情報処理、統計分析等
↓
- ④まとめ・表現 : 論文作成、プレゼンテーション、
ポスターセッション、提言等で発信

また、臨時休校等の際には、教育委員会や学校のホームページに専用ページを設け、学習用の動画や課題を配信する予定である。また、Web 会議システム等を利用した双方向の遠隔教育の準備を進めていく予定である。

2 校務での ICT 活用について

(1) 効率化とペーパーレス化

職員間で、デジタル教材やそれを用いた指導法等についてデータを共有することで、校務の効率化を進める。また、これまで紙に印刷していた教材を、データとして子どもたちに提示することでペーパーレス化を進める。

(2) 学習履歴の活用

子どもたちの作品の画像や活動の動画を学習履歴としてデータで保存し、職員が指導・支援の改善を進める。

(3) 関係機関との連携の充実

オンライン機能を活用することで、学校間の情報交換、地域との交流、外部講師との打ち合わせなど関係機関との連携をより一層進める。

3 フォローアップについて

毎年度、各学校の活用状況を把握し、必要に応じて学校への支援を行う。また、研究発表会や実践発表会等の機会を利用して、優れた実践事例の共有化を図る。